



品川女子学院
図書室発行 192号
2020/2月号

話題の本をチェック

「最近読む本が見つからないなあ〜」という方に、話題の本をご紹介します！
こういったところから読む本を探していくのも楽しいですよ。

■センター試験で出題された作品

どの文章が出されるのか、毎年注目されているセンター試験、国語の問題。
5年生のみなさんはセンター同日体験で解いたのですが、覚えていますか？
記憶の新しいうちに読み直してみるのもいいですね。



第1問：『境界の現象学』河野哲也：著/筑摩書房

第2問：「^{かば}翳」原民喜：著（『原民喜戦後全小説』講談社所収）

■品女の入試で出題された作品

品女の国語の文章にも注目！

自分たちが受験したときはどんな文章だったのか覚えていますか？

今年はどんな文章が出題されたのでしょうか？図書室になかった本を発注しています。
お待ちください！



第1回 【評論】『カガク力を強くする！』元村有希子：著/岩波書店

【小説】『鎌倉うずまき案内所』青山美智子：著/宝島社

第2回 【評論】『「食べること」の進化史 培養肉・昆虫食・3Dフードプリンタ』石川伸一：著/筑摩書房

【小説】『キャプテンマークと銭湯と』佐藤いつ子：著/光文社

第3回 【評論】『あなたの勉強法はどこがいけないのか？』西林克彦：著/筑摩書房

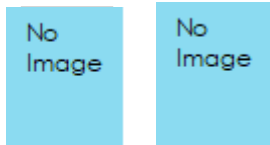
■芥川賞・直木賞

毎回注目される芥川賞と直木賞。

1月15日、2019年下半期（第162回）の芥川賞・直木賞も発表されました！

直木賞：『熱源』川越宗一：著/文藝春秋

芥川賞：『背高泡立草』古川真人：著/集英社



二作ともあります。

■本屋大賞

1/21に本屋大賞のノミネート作品が発表されました。

本屋大賞とは、全国の書店員の方が「一番売りたい！」と思った本に投票し、大賞が決まります。今回はノミネート10作品が発表されました。この中から4/7に大賞が発表されます。本屋大賞に選ばれた本は、読みごたえのある作品が揃っています。
大賞が発表されるまえに、全部読んでみて、大賞を予想してみるのもいいですね！

『線は、僕を描く』砥上裕将：著/講談社



『店長がバカすぎて』早見和真：著/角川春樹事務所

『夏物語』川上未映子：著/文藝春秋

『熱源』川越宗一：著/文藝春秋

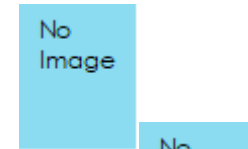
『ノースライト』横山秀夫：著/新潮社



『むかしむかしあるところに、死体がありました。』青柳碧人：著/双葉社

『ムゲンのi』知念実希人：著/双葉社

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』相沢沙呼：著/講談社



『ライオンのおやつ』小川糸：著/ポプラ社



『流浪の月』凧良ゆう：著/東京創元社



図書委員より

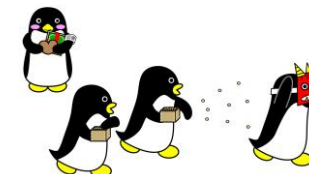
『人生が大きく変わる話し方 100の方法 ポイトレ活用&あがり対策でスピーチが上手くなる!』

酒井とし夫：著/日本能率協会マネジメントセンター



品女生には人前で発表する機会がたくさんありますよね！でも、いつも緊張して上手く話せないなあ、と悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。

この本には、極度のあがり症で講演が大の苦手だった著者が、今では大勢の観衆の前で講演し、一人で年商一億の名講師として活躍できるようになった「話し方」の方法が載っています！心理学とポイトレを掛け合わせた話し方のコツ、とても面白いので是非手に取ってみてください！



5A0さん